

フラス1

～いつもの支援を一工夫～

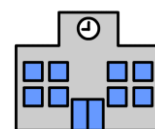
岐阜県立東濃特別支援学校
地域支援センター通信
No. 24 (H27. 9月号)

センター的機能研修会(公開講座)へのご参加、 ありがとうございました！！

今年度は、障がい者の就労、保護者の子育ての経験から、ユニバーサルデザインの視点から考えた特別支援教育、意欲を高める授業づくり、そして防災研修会と様々な視点から特別支援教育を考える研修会を実施しました。おかげさまでどの会もたくさんのご参加をいただき、共に学び合う時間を共有できました。ご協力、ありがとうございました。

また、参加していただいた皆様から今後の研修会へのご要望や研修会の運営に関するご意見をたくさんいただいております。今後の研修会実施に向けていただいたご意見を参考に計画をさせていただきます。重ねてありがとうございました。今後とも当センターの事業にご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

以下に、各研修会にてお寄せいただいたご感想の一部を載せさせていただきます。



☆ご感想の紹介☆

○「障がい者の就労について」

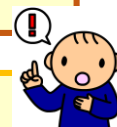
講師 加藤 健史氏

- ・基本的な生活面でのルールをしっかり身に付けていないと、企業に雇ってもらえる人材にならないのだと痛感しました。支援してもらえる機関があることを踏まえ、雇っていただけるルールやマナーを身に付けさせることが大事だと分かりました。
- ・働くまでにストレスへの対処法を身に付けることや、働くということは責任をもって役割をこなすこと、自分を必要としているということ等が分かるように、学校で子どもたちに教えていきたいです。

○「通常の学級における特別支援教育」

講師 漆澤 恭子先生

- ・こうでなくてはならない、とかたくなな考えでいる自分の肩の力が抜けるようなお話でした。ユニバーサルデザインは、「こうでなくてはならない」という型にはまったやり方ではなく、子どもの様子を見て、それぞれに合わせて考えていくということがよく分かりました。
- ・支援を必要とする子と周りの子とのかかわりには、いつも悩み、考えさせられるものがありました。ヒントをいただけてありがたかったです。



○「療育に近道はない」

講師 高阪 正枝氏

- ・普段の生活の中ではイレギュラーなことが起きるのが当たり前なので、毎日の生活経験が大切だというお話が印象的でした。保護者だからこそそのお話を聞くことができました。
- ・パニックは「子どもの気持ちの表現」「今、しんどいんだ」という表現だと聞き、改めて受け止め方を考えなければと思いました。これを踏まえ、NO!と言えることの大切さを考えると、子どもたちにかける言葉や接し方も変わってくるのではないかと思います。



○「発達障がいのある子の意欲を高める通常学級の授業づくり」

講師 宇野 宏幸先生

- ・マインドマップやクイズ形式にするワークシート等、ちょっとした工夫をすることで授業改善されることが例で示されていてとても分かりやすかったです。
- ・ADHD、ASD等、子ども一人一人の苦手や得意をしっかりとらえて、得意なところを生かせる授業づくりが大切だと思いました。楽しい授業ができるよう工夫していきたいと思います。



○「災害への備え～学校、家庭ですべきこと～」

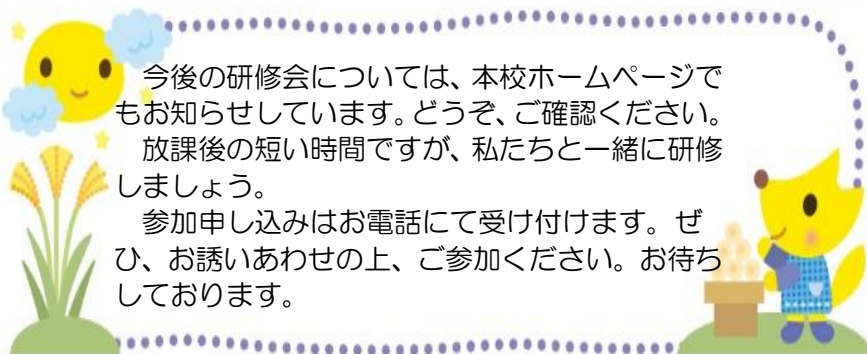
講師 大石 啓文先生

- ・子どもたちへの防災教育を中心に考えてきましたが、家庭への働きかけが重要であることが分かりました。子どもを変えることよりも、子どもを理解してくれる人を増やすことが大切だと分かりました。
- ・障がいのある人や子どもに特化して、本人、その周りの人への具体的なサポート等を詳しく知ることができました。普段からシミュレーションを行って準備を万全にし、いざというときに備えたいと思います。



☆今後の公開研修会のお知らせ☆

| | |
|--------------------|----------------------------|
| 9月15日(火) | 11月2日(月) |
| 猶原 秀明先生 | 熊谷 常康先生 |
| 愛知淑徳大学文学部教育学科 准教授 | 熊谷医院 医師 |
| キャリア教育と特別支援教育 | アナフィラキシーを 含めた緊急時の対応について |
| 東濃特別支援学校 1階 第3棟作業室 | |
| 研修時間 15:50~17:00 | |



今後の研修会については、本校ホームページでもお知らせしています。どうぞ、ご確認ください。
放課後の短い時間ですが、私たちと一緒に研修しましょう。
参加申し込みはお電話にて受け付けます。ぜひ、お誘いあわせの上、ご参加ください。お待ちしております。

申し込み・お問い合わせ

- ☆ TEL (0572) 55-4821
- ☆ FAX (0572) 55-4829
- ☆ メール

p33639@gifu-net.ed.jp

地域支援センター 保母まで

隔月で「プラス1」を発行させていただいています。
ご意見、感想をお寄せください。